

「技術委員会・第22回報告会」のご案内

主催：(一社)日本建築構造技術者協会
技術委員会

技術委員会では、2008年11月の第1回から2023年3月の第21回の「報告会」で所属部会の活動状況や2012年3月には「意見交換会・東日本大震災からの教訓」を開催し会員の皆様へ報告してまいりました。また毎回多くの方々に参加して頂き、貴重なご意見やご要望を聞くことができたことに感謝しております。

技術委員会は、部会、分科会の主査、支部の委員長で構成されており、活動をまとめている委員会です。各部会や各支部においては、活動の成果がまとまった段階で講習会やシンポジウムを開催し報告していますが、この報告会は、途中段階での各部会が検討しているテーマを中心に話題を提供し、現在の活動に対して意見交換をする場としており、今後の活動に皆様の意見を反映させて技術委員会の活性化を図るものです。

前回の報告会から約1年が経過し、第22回報告会でも、新しいテーマに取り組んでいる各部会の情報を公開してもらおうこととなりました。今回は、応答制御設計部会と基礎地盤系部会の2つの部会より、下記のテーマが話題として提供されます。

今回も技術力向上に対するいろいろな話題で論議したいと考えております。

記

■応答制御設計部会 テーマ：「極大地震に対する鋼構造建築物の設計例

－8階建て事務所ビルへの制振構造・免震構造の適用－

講演者：主査 荻野雅士、他

概要：応答制御設計部会では、8階建て鉄骨造事務所建築物を対象に、限界耐力計算（平12建告1457号）、免震告示（平12建告2009号）、エネルギーの釣合いに基づく耐震計算（平17国交告631号）に準じた設計例を作成し、広く免震構造・制振構造の普及を図ることを目的として活動してきました。この設計例は、一般的な一貫計算プログラムソフトと表計算ソフト（Excel）にて作成し、耐震性能についてはJSCA性能メニューを引用して、耐震性能の向上を示しております。本報告会を中間報告と位置づけ、会員の皆様の幅広いご意見を伺い、今後の活動に役立てたいと考えています。

■基礎地盤系部会 テーマ：「設計者のための設計ハンドブック」

講演者：主査 阪上浩二、他

概要：基礎地盤系部会では、2023年から日ごろの設計業務に役立つ基礎構造の設計ハンドブックの作成に取り掛かっており、手始めに「①地盤調査」、「②杭頭接合」、「③各行政の杭・基礎の取り扱い」の3つのテーマのハンドブックの作成を行っています。部会内でそれぞれの作成方向が決まったため、本報告会で中間報告を行い会員の皆様の幅広いご意見を伺い、今後の活動に役立てたいと考えています。

日時：2024年6月3日（月） 13:30～17:40

会場：けんぼプラザ（東京都渋谷区千駄ヶ谷2-37-9）およびオンライン（Zoomウェビナー）

参加費：会員1,000円、非会員2,000円

定員：会場30名、オンライン400名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

申込締切：会場2024年5月28日（火）17:00 / オンライン2024年5月31日（金）17:00

構造士更新：JSCA建築構造士登録更新のための評価点申請中。

CPD制度：建築CPD情報提供制度対象講習会申請中

オンライン参加の場合、それぞれ所定の時間を聴講したとみなされた参加者が対象となります。

確実に付与されるよう参加者自身でネット環境の事前確認を十分に、当日は余裕をもってアクセスし、切断等の障害が発生しないようにして下さい。

申込方法：デジタルチケット購入形式（次頁）

ご自身の申込区分を確認の上、以下 URL または QR コードから、チケットを購入して下さい。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/022jbrbalyq31.html>



視聴に係る注意事項：配信動画について、以下の行為を禁止します。

- ①第三者に対して、動画視聴に必要な事項を提供すること。
- ②動画のダウンロード、録画・録音すること。

※ Zoom の接続方法についてのご相談は JSCA 事務局ではお受けいたしかねます。

以下の Zoom ヘルプセンター等でご確認をお願いいたします。

Zoom ヘルプセンター <https://support.zoom.us/hc/ja>

Zoom テストサイト <https://zoom.us/test>

お問合せ : メールにて承ります

(一社) 日本建築構造技術者協会 事務局 e-mail : seminar@jsca.or.jp